

# 防犯カメラ TV・写真一体型を開発

防犯用カメラ製造の奥田商事(広島市西区)は、テレビのモニター監視と写真撮影の二つの機能を併せ持つ防犯用カメラを開発した。即時に映像を再生できるビデオと、確実に記録できる写真機のそれぞれの長所を取り入れた。テレビ・写真の一体型カメラはわが国で初めてで、金融機関のCD・ATMコーナー向けに来年一月から本格的に販売を始める。

## ビデオ再生と撮影を同時に

新開発した防犯カメラは、よって、写真撮影の枚数、ピンホールOSD・8Pデータ間隔などを制御。テレビ映「ト」。ビデオカメラと写真カメラを、共通レンズを使って一体化。直径3ミリのピンホールレンズからの光をプリズムによって屈折させ、フィルムとテレビの受像素子の両方へ画像を伝える仕組み。離れた場所でもモニターテレビを使って監視ができる。同時に写真撮影をし、8ミリのフィルムに記録して行く。

### 奥田商事が来月販売

広島銀行によると、写真は写真機、営業スペースにはビデオカメラを設置するなど、それぞれの特徴に合わせて使い分けている。「コストやスペースの面から二つの機械を設置するのは無理。防犯対策は信用問題にかかわるだけに、テレビと写真の一体型方式は金融機関にとって便利な製品になるのでは」と言う。



奥田商事が開発したテレビ・写真一体型の防犯カメラ。左はカバー付き

カメラ本体、コントローラ、モニターなど一セットで四十八万八千円で、写真専用機より割高だが、ビデオ防犯カメラより二割前後安くした。年間二千台の販売を見込んでいます。